

新庁舎建設基本計画（案）市民説明会（萱瀬地区）

開催日時	平成 30 年 5 月 8 日（火） 19 時 00 分～20 時 10 分
会場	萱瀬住民センター大会議室
参加者	18 人

質問・意見と回答（意見に対する考え方）

（ご意見の一部については、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。）

No.	質疑・意見の要旨	回答及び意見に対する考え方
1	新庁舎の職員数 825 人は、分庁舎のこどもセンターなどの職員も含むのか。議員数 25 人は定数条例とあるが、現在何人なのか。	職員数 825 人には、集約する上下水道局、こどもセンターなどに勤務する職員を含めています。現在の議員数は 23 人です。
2	新庁舎に、閉庁日に使用できる映画館を造ってほしい。	映画館については、市民の方からのご意見も多くあり、民間企業への誘致活動を行っている状況です。 庁舎への映画館の設置については、新庁舎の機能に関する貴重なご意見として参考にさせていただきます。
3	建設時期が延びることで、交付税措置額が減少し、市の財政負担が増えると思うが、市の財政は長期的に見るとどうなる見通しなのか。	市では、5 年間の中期財政見通しを立て、市債については平成 30 年度で約 422 億円、平成 32 年度では約 500 億円と試算しています。 交付税措置については、国に対し期限の延長を要望していますが、様々な財政シミュレーションを行いながら、市民生活に影響がないよう、健全な財政運営に努めたいと考えています。
4	建設に際しては、贅沢をせず、なるべく費用を抑えてもらいたい。	市の財政負担を抑えられるよう、可能な限り建設費の縮減に努めたいと考えています。
5	今月 7 日に開庁した武雄市の新庁舎は、延床面積約 9,000 m ² 、建設費約 30 億円で、建設単価は約 33 万円/m ² である。 基本計画（案）では、50 万円/m ² だが、建設費をもう少し抑えることができるのではないか。	基本計画（案）においては、先行自治体の状況を踏まえ、今後の消費税率の変更、労務単価の上昇なども加味して、50 万円/m ² としています。 建設費については、今後の設計の中で検討し、可能な限り縮減に努めたいと考えています。

No.	質疑・意見の要旨	回答及び意見に対する考え方
6	新庁舎はボート場第5駐車場に建設されるとのことだが、ボート開催時や補助グラウンド利用者に対する駐車スペースは確保できるのか。	ボート第5駐車場に新庁舎を建設し、現庁舎を解体して駐車場とするので、基本的には変わらないと考えています。
7	現庁舎から新庁舎に移る際、業務はどのように移行していくのか。	新庁舎完成前までは、現庁舎で業務を行い、新庁舎完成後に、業務を移行します。
8	年号の表示については、若い世代の人にも分かりやすいように、和暦だけでなく、西暦での表記もお願いしたい。	年号の表記については、分かりやすいように配慮したいと考えています
9	食堂やレストランの構想はあるのか。	隣接する公共施設の中で、かつて食堂が運営されていましたが、現在は交流スペースとなっている状況です。 また、食堂ではなく、コンビニを設置して、食事ができるスペースを確保してほしいなど様々なご意見、要望があることから、今後の設計の中で検討していきます。
10	既存庁舎の解体中における駐車場はどうなるのか。	解体中における駐車場については、近隣の市有地の活用を検討しています。
11	新庁舎には物産を置くスペースは確保されるのか。	情報コーナーを設置しますので、その中で検討します。
12	県庁でもあったが、備品の整理についてはどのように考えているのか。	現状の備品については、使えるものは最大限使っていきたいと考えています。